

## ☆☆☆はままつ演劇フェスティバル 2018☆☆☆

### アフタートークに参加して、劇評を書いてみませんか

劇団からっかぜ秋公演 『二人の長い影』 作:山田 太一 演出:布施 佑一郎  
アトリエ公演 2018年11月04日(日) 15:00～ 終演予定16:45

アトリエ公演の楽日、公演終了後、高田和文先生によるアフタートークがあります。今年には劇評ワークショップに代えて、劇評賞対象作品の1つ「二人の長い影」(劇団からっかぜ)の終演後にアフタートークを開催します。その内容を参考にして、気軽に劇評を書いてみませんか。お話をするのは、高田和文先生(劇評賞審査委員)、松本俊一さん(自主公演審査委員)、布施佑一郎さん(「二人の長い影」演出家)です。会場の皆さんからの質問にもお答えしたいと思います。

#### 高田和文

静岡文化芸術大学理事、元ローマ日本文化会館館長。東京外国語大学大学院修了。ナポリ東洋大学講師、在イタリア日本大使館専門調査員、東京大学講師、NHKテレビイタリア語会話講師などを歴任。著書に『イタリアの味わい方』(綜合法令出版、共著)、『話すためのイタリア語』(白水社)、『NHK スタンダード 40 イタリア語』(日本放送出版協会)など。訳書・翻訳にウーゴ・ロンファーニ著『ストレーレルは語る』(早川書房)、アンドレア・ボチェッリ著『沈黙の音楽』(早川書房)、ダリオ・フォー作『払えないの? 払わないのよ!』(劇団民藝上演台本)、カルロ・ゴルドーニ作『ミランドリーナ・宿の女主人』(劇団櫻花舎上演台本)など。優れた翻訳劇に贈られる湯浅芳子賞受賞。イタリア共和国「カヴァリエーレ・イタリア連帯の星」勲章を受章。



下記対象公演のいずれかをご覧ください、劇に対する批評を書いて、ご応募ください。両方の公演にご応募いただいても構いません。

#### 劇評賞対象作品

- ・11月04日(日)15時～ 劇団からっかぜ「二人の長い影」
- ・12月02日(日)14時～ シニア劇団浪漫座「鹿鳴館、西へ！」
- ・11月24日(土)18時～ 劇団からっかぜ「二人の長い影」

ご応募いただいた中でもっとも優秀な1作品に、劇評賞を授与いたします。(選考結果は2019年1月19日(土)に開催するファイナルイベント内にて発表いたします。)  
また劇評賞を受賞された場合、来年度の「はままつ演劇フェスティバル」の審査員になる権利を得ることができます。あなたも審査員に加わり、浜松の演劇シーンを、一緒に盛り上げませんか？

#### 【申込方法】

400～1000字以内でA4用紙1枚にまとめ、住所・氏名・連絡先を明記の上電子メールにてお送りください。

◆宛先：高田和文先生 [ktakada@suac.ac.jp](mailto:ktakada@suac.ac.jp)